

平成19年度 地域密着型金融の取組み状況

飾らない銀行

 **京都銀行**

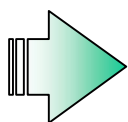


目次

「中期経営計画」と「地域密着型金融の推進」について	… 3
1. 中期経営計画について	… 4
2. 「中期経営計画」と「地域密着型金融の推進」	… 5
平成19年度の実績について	… 6
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 創業・新事業支援	… 7
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 事業再生	… 8
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 - 1企業再生ファンドを活用した事例	… 9
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 経営改善支援等の取組み実績	… 10
2. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底 担保・保証等に過度に依存しない融資等への取組み	… 11
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 地域活性化につながる多様なサービスの提供	… 12
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 地域活性化につながる多様なサービスの提供	… 13

「中期経営計画」と「地域密着型金融の推進」について

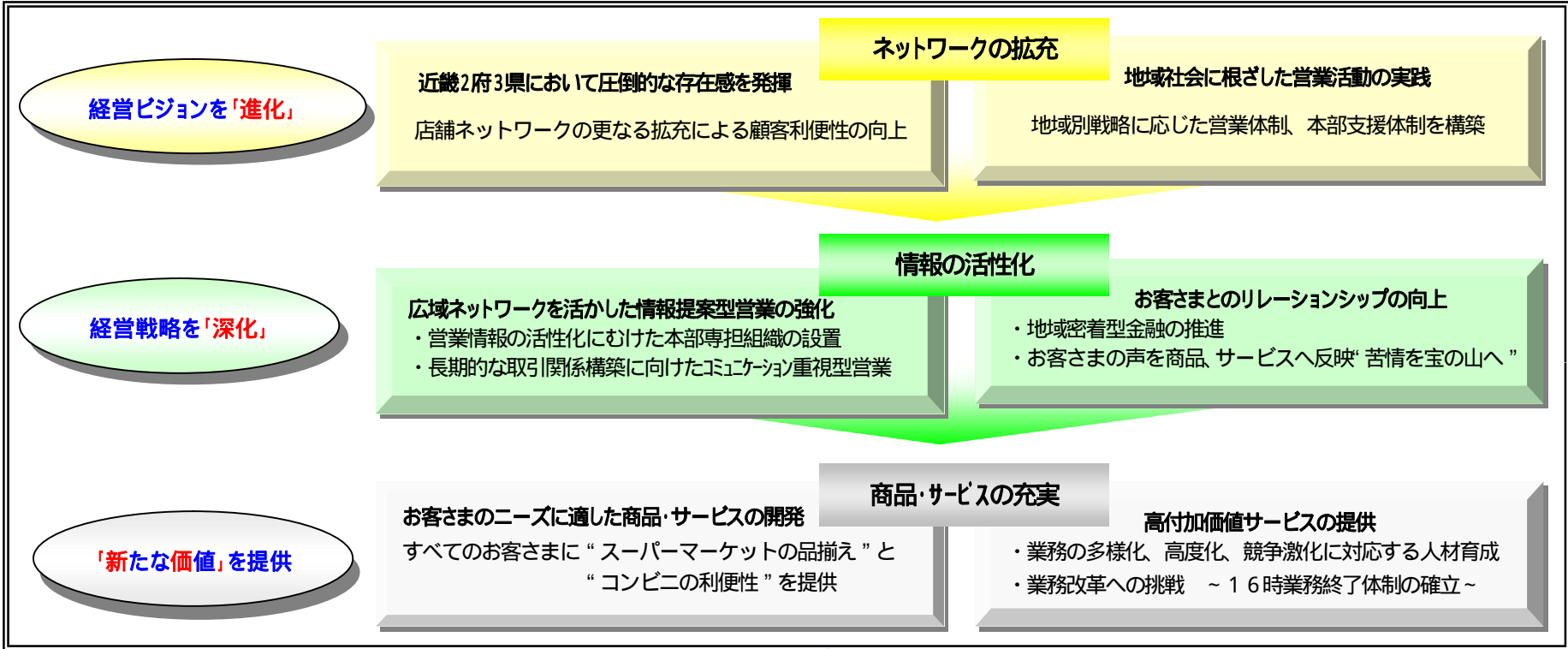
経営理念
「地域社会の繁栄に奉仕する」



第3次中期経営計画(平成20年4月～平成23年3月)

(計画名称) **し・ん・か**

基本方針 **企業真価の向上と地域社会との共感・共生**



中期経営計画に「地域密着型金融の推進」についての基本方針と重点施策を盛り込む

基本方針

サポート機関との連携強化と品質の高い金融サービスの提供により、地域経済の活性化に貢献する。

基本戦略

重点施策

情報提案型営業の強化 ~ 法人金融部に情報戦略担当を設置 ~
法人向け提案型営業の強化 個人取引のメイン化推進施策の実施

情報の
活性化戦略

地域密着型金融の推進
ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化
・ 創業、新事業支援 ・ 経営改善支援、事業再生 ・ 事業承継
事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
・ 不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資への取組 ・ 目利き機能の向上
持続可能な地域経済への貢献
・ 観光産業の活性化 ・ 環境配慮型企業等への金融支援
・ 地域社会から共感が得られる企業づくり

お客様の声を商品、サービスへ反映 顧客起点型営業の実践

地域密着型金融の推進

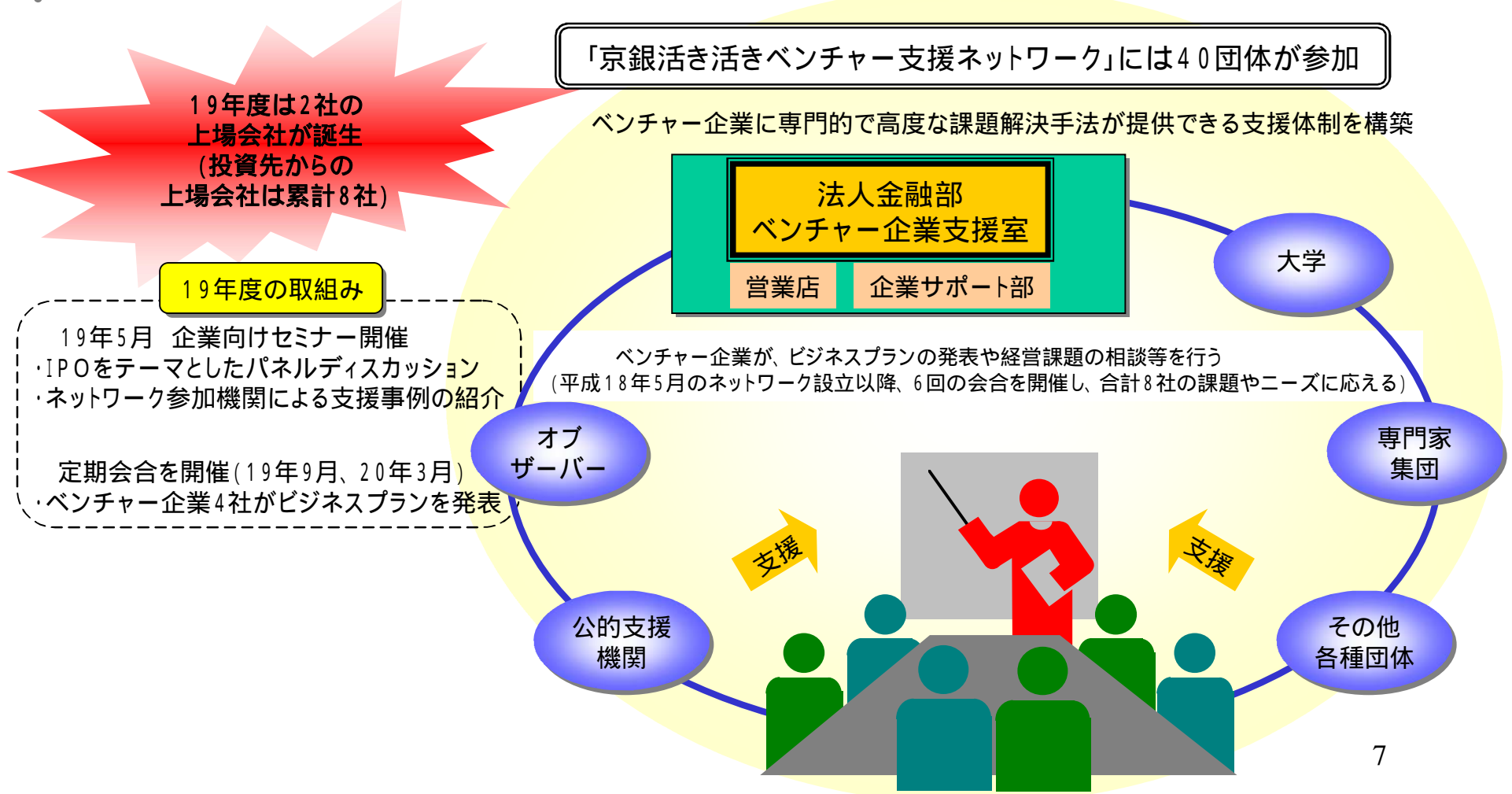
中小企業等の育成を通じ、地域経済の活性化に貢献することが、地域密着型金融の本来のあり方と認識し、積極的な貸出金の推進や経営改善支援等に取り組む

平成19年度の取組みについて

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 創業・新事業支援

資金面からの事業支援	19年度 創業・新事業支援融資実績	21件、172百万円
	19年度 ファンドによる投資実績	10件、273百万円

資金面に留まらない支援 → 「京銀生き生きベンチャー支援ネットワーク」を活用したベンチャー企業支援



1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 事業再生

地域での面的再生に向けた枠組みを構築

深く経営に関与することにより、
早期の事業再生をはかる

経営支援対象先

コンサルティング契約
19年度契約先 2先
(累計42先)

経営コンサルティング会社

事業の再構築

再生スキーム・手法の提供

個別経営相談会
19年度19先(累計174先)

再生計画策定先数
19年度33先(累計113先)

再生ファンドからのイグジット
資金支援 (19年度 2先)

中小企業再生支援融資制度
19年度 21先、28.2億円

地域の再生支援ネットワーク

地元金融機関

「再生担当者会議」
「再生委員会」
・再生事例の研究、情報交換

中小企業再生支援
協議会

19年度 再生計画策定支援実績
3先(累計21先)

保証協会

京都銀行

企業再生ノウハウの共有化

営業店

毎月のモニタリングによる情報共有

「企業再生セミナー」の開催

2回開催、120名参加(19年9月、20年3月)

「金曜営業店相談室」の開催

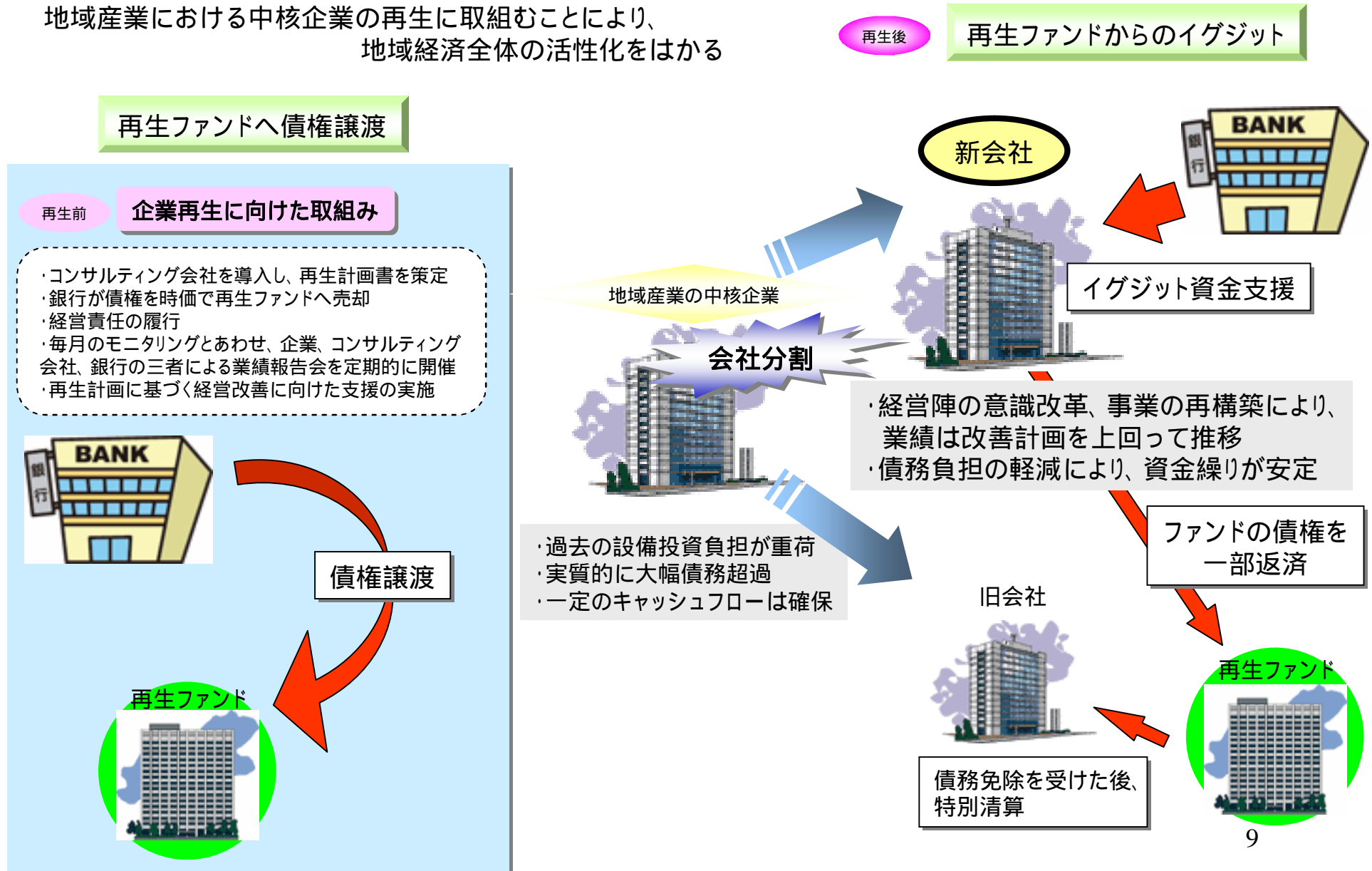
改善計画策定支援(延べ60先 / 34ヵ店実施)

【19年4月時点】
審査部
経営支援室
(6名体制)

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

1 企業再生ファンドを活用した事例

地域産業における中核企業の再生に取り組むことにより、
地域経済全体の活性化をはかる



1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 経営改善支援等の取組み実績

経営改善支援等の取組み実績

金融機関名 京都銀行

【19年4月～20年3月】

(単位:先数)

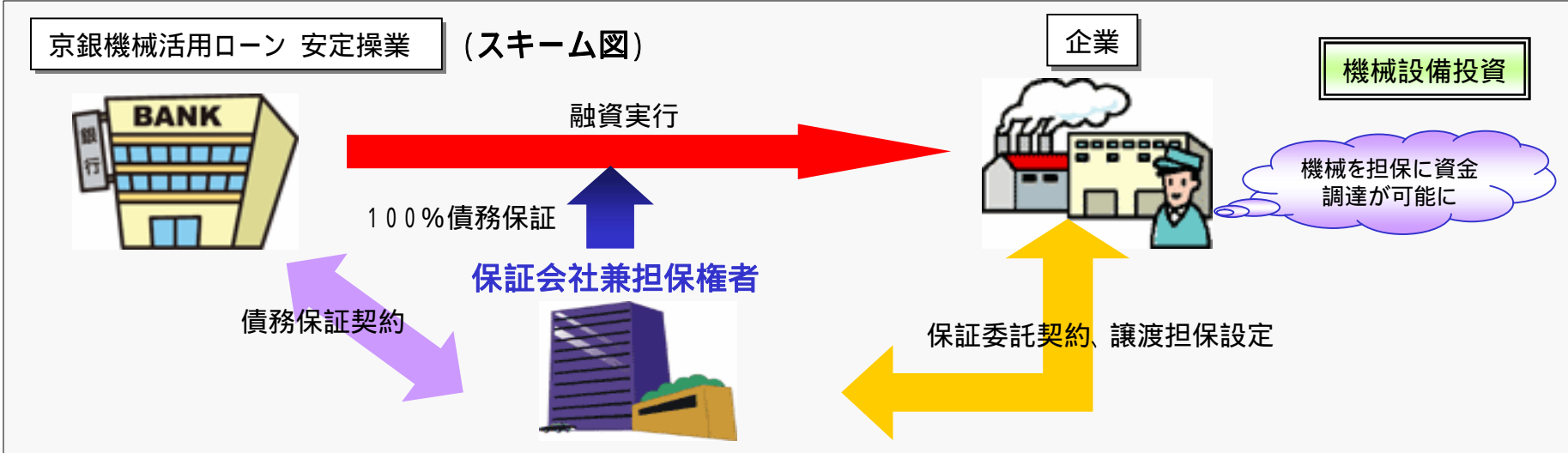
	期初債務者数 A	うち 経営改善支援取組 み先	うち期末に債務者区分が			経営改善支援取 組み率 = /A	ランクアップ率 = /	再生計画策定率 = /	
			ランクアップ した先数	変化しな かった先	再生計画を 策定した先数				
正常先	20,084	9		6	2	0.04%		22.22%	
要 注 意 先	うちその他要注意先	5,331	120	8	95	56	2.25%	6.67%	46.67%
	うち要管理先	437	70	10	49	39	16.02%	14.29%	55.71%
破綻懸念先	961	20	8	11	17	2.08%	40.00%	85.00%	
実質破綻先	88	0	0	0	0	0.00%	0.00%	0.00%	
破綻先	44	1	1	0	1	2.27%	100.00%	100.00%	
小計(～の計)	6,861	211	27	155	113	3.08%	12.80%	53.55%	
合計	26,945	220	27	161	115	0.82%	12.27%	52.27%	

- 注) ・期初債務者数及び債務者区分は19年4月当初時点で整理。
 ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。
 ・経営改善支援取組み先の定義については、これまでと同様ですが、詳細については別紙「経営改善支援取組み先の定義について」を参照。
 ・には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載。
 ・なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はに含めるもののに含めない。
 ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はに含める。
 ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理すること。
 ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。
 ・には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。
 ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上のこと。
 ・「再生計画を策定した先数」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」

2. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底 担保・保証等に過度に依存しない融資等への取組み

動産担保を活用した融資の取組みを実施することにより、資金調達手法の多様化をはかる

- 動産・債権譲渡担保融資への取組み
 - ・売掛債権担保融資への取組み
 - ・機械設備や車両を担保とした融資への取組み
- 平成19年度実績 60件、1,660百万円
(うち平成19年度実績 54件、1,486百万円)
平成19年度実績 6件、174百万円



3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 地域活性化につながる多様なサービスの提供

地域貢献活動への積極的な取り組みにより地域社会との共感・共生をはかる

地域住民に対する金融知識の普及

京都市「スチューデントシティ」事業へ参加

「スチューデントシティ」事業へ擬似店舗の出店、
行員の派遣等を行うことにより、金融教育の普及に貢献



「子ども経済教室」開催(平成19年度 2回開催)

「子どもたちにお金の大切さを教え、金融についての知識を
深めてもらうための講義」、「お金を見て、触れる」、「指静脈認
証の実演」、「本店貸金庫の見学」等、体験学習を実施



立命館宇治高等学校における「スチューデントカンパニー・プログラム」へボランティア行員を派遣

(平成19年11月～平成20年2月までの間、計8回派遣)

生徒が学校の中に株式会社を設立し、商品の開発・生産・販売を行い、その経営成果を株主総会で発表する実技体験型の経済教育プログラム。

当行行員は「社外取締役」という立場で、生徒の相談役として助言を行う。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 地域活性化につながる多様なサービスの提供

観光客誘致に向けたALL京都での取組み

「第40回アジア開発銀行」年次総会(平成19年5月)への協力を通じ、「歴史都市・京都」の素晴らしさを広くアピール

当行の取組み内容

仁和寺を会場として、歓迎レセプションを開催(大和証券グループと共催)
・会場運営については、法人金融部「観光支援室」が窓口となり調整

アジア開発銀行総会会場内における外貨両替業務に、行員を派遣
・メイン会場である国立京都国際会館内に専用ブースを設置して、対応

アジア開発銀行本部関係者の秘書業務要員へ行員を派遣

会場では、ポスター「I Love Kyoto」を展示

京都の自然・歴史的遺産・伝統文化などを四季折々の趣を託し、制作したポスター「I Love Kyoto」を展示



総会出席の各国代表、金融界要人、関西経済界、
当行主要取引先等、国内外から約400名が出席



歓迎レセプションの様相

京都文化を広く発信することにより、地域貢献の役割を担う

京舞や弦楽四重奏等、京都らしい演出で招待客をおもてなし

